レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	モデルプロジェクトの継続性向上 ※R6からひょうごTECHイノベーションプロジェクトと統合して実施	部（局）	産業労働部
		所管課	新産業課
		担当班	スタートアップ推進班
		連絡先	078-362-9201

開始年度	令和３年度	終了年度	－	関連計画等	厚生労働省地域活性化雇用創造プロジェクト
事業区分	☑ 国補助事業　☑ 県単独事業				
実施方法	□ 直執行　☑ 委託　☑ 補助　□ その他（　　）			実施主体等	県

事業目的	新たに県内に事業所を開設したIT事業者等と連携し、地域課題を解決するモデルプロジェクトを実証することにより、地域内のIT人材を育成する。 また、県内で実証されたモデル的な取組の成果について、同様の課題を抱える他自治体への横展開を実施する。
事業概要	①社会課題を抱える自治体と技術を有する事業者をマッチングし、協働による実証実験をおこなう （補助１件あたり最大500千円、補助率1/2以内） ②実証実験の成果を踏まえ、同様の課題を抱える県内外市町へ横展開(公共調達の促進)
業務フロー	①委託事業者の公募・選定→県内自治体課題の募集・選定→プロジェクト事業者の公募・選定→実証→成果発表会 ②横展開イベント参加事業者の選定→取り組み成果を県内外へ共有
R5レビュー時の外部委員会意見	①ひょうごTECHｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄに統合していくのは、適切な検討の方向性ではないか。 ②アウトカム指標は、国事業として雇用創出人数を残すとともに、県事業でもある以上、県の理念に沿った指標も入れるべきなので、 採択プロジェクトの計画に対する達成度も指標として検討してはどうか。 ③うまくいった事例について、同じ課題を有する他の地域への横展開を検討すべき。
改善結果 改善状況〔取組過程〕	①地域IT人材育成事業をひょうごＴＥＣＨイノベーションプロジェクトに統合して実施 ②「採択プロジェクトの計画に対する達成度を図る指標」として、公共調達率を設定 ③県内外の横展開イベントを通して、他の地域における公共調達を促進(令和7年：5回)

事業に要するコスト

区分			５年度決算額	６年度決算額	７年度当初予算額	８年度当初予算額
事業費①			29,999 千円	34,843 千円	32,119 千円	28,421 千円
経費内訳	報酬・賃金					
	委託料		29,999 千円	26,922 千円	24,619 千円	21,921 千円
	補助金・交付金			7,921 千円	7,500 千円	6,500 千円
	貸付金					
	その他					
（財源内訳）	(国庫)		(28,720千円)	(5,975千円)	(5,975千円)	(5,975千円)
	(特定)					
	(起債)					
	(一般財源)		(1,279千円)	(28,868千円)	(26,144千円)	(22,446千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載			29,999 千円	34,843 千円	32,119 千円	28,421 千円
執行率((①/②)×100)			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人件費③（a＋b＋c）			従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人
			4,125 千円	4,310 千円	4,499 千円	4,719 千円
	職員給与費	a	3,578 千円	3,695 千円	3,952 千円	4,104 千円
	賞与引当金繰入額	b	297 千円	312 千円	297 千円	312 千円
	退職手当引当金繰入額	c	250 千円	303 千円	250 千円	303 千円
総コスト(①＋③)			34,124 千円	39,153 千円	36,618 千円	33,140 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

評価指標	指標名	区　分	５年度実績	６年度実績	７年度見込	８年度目標	最終目標【年度】
	成果指標(アウトカム指標①)	目　標	60	78	106	152	累計152
		実 績（見 込）	61	80	(127)	(174)	【R8年度】
	雇用創出人数(累計)	(単位当たりコスト)	(559 千円)	(489 千円)	(288 千円)	(190 千円)	
		達 成 率（見 込）	101.7%	102.6%	(119.8%)	(114.5%)	
	成果指標(アウトカム指標②)	目　標	10	13	13	13	累計69
		実 績（見 込）	10	18	(14)	(16)	【R10年度】
	社会課題ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄに着手した件数	(単位当たりコスト)	(3,412 千円)	(2,175 千円)	(2,616 千円)	(2,071 千円)	
		達 成 率（見 込）	100.0%	138.5%	(107.7%)	(123.1%)	
	成果指標(アウトカム指標③)	目　標	60%	60%	60%	60%	60%
		実 績（見 込）	88%	77%	82%	80%	【R10年度】
	公共調達率等	(単位当たりコスト)	(38,777 千円)	(50,848 千円)	(44,656 千円)	(41,425 千円)	
		達 成 率（見 込）	146.7%	128.3%	(136.7%)	(133.3%)	
	活動指標(アウトプット指標①)	目　標	12	13	13	13	累計75
		実 績（見 込）	11	15	(22)	(31)	【R8年度】
	横展開支援企業数（横展開イベント参加の呼びかけ）	(単位当たりコスト)	(3,102 千円)	(2,610 千円)	(1,664 千円)	(1,069 千円)	
		達 成 率（見 込）	91.7%	115.4%	(169.2%)	(238.5%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目　標					
		実 績（見 込）					
		(単位当たりコスト)					
		達 成 率（見 込）	--	--	--	--	
	活動指標(アウトプット指標③)	目　標					
		実 績（見 込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達 成 率（見 込）	--	--	--	--	
標	終期設定	(有)（現行地プロの終期がR8年度　　） ・ 無					
	改善基準						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	社会課題プロジェクトに参画するIT事業者等を継続的に確保し、これら事業者との協業による実証を通じて、社会課題の解決と雇用機会の創出を推進した。	A:満足のいく実施状況 同一課題を有する他自治体へ実証成果を横展開し、高い公共調達率を達成するなど有効性が高く、各評価指数の年度目標を上回る成果をあげている。
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	公民連携の実績を有する民間団体に業務を委託することで、IT事業者等に対し横展開イベントへの参加を促すなど、適切なフォローアップを実施し、事業を円滑に推進した。	

課題・今後の方向性

□ 改善　□ 他事業と統合　☑ その他

説明（令和5年レビュー時の外部委員会委員を踏まえた改善に取り組んでおり、評価指標も達成するなど効果的・効率的に事業を展開できている。）

外部委員会意見

・事業統合、予算の効率化や、実証実験を公共調達につなげている点は評価でき、高い費用対効果が認められる。
・特に、統合後は実証実験にとどまらず、公共調達や他自治体への横展開までを支援する仕組みが構築され、公共調達率や横展開機会提供企業数は目標を大きく上回るなど、事業成果の社会実装が進展している点は高く評価できる。
・一方で、公共調達率は行政需要への依存度を示す指標に過ぎず、目標化すると行政予算への依存が続く懸念がある。そのため、補助金終了後の企業の自立的な収益力を評価するために、導入後の継続利用率や民間売上高、調達外の取引先数、補助額に対する粗利増加額なども併せて追跡するなどの工夫も必要。
・また、自治体調達後の民間展開や他自治体への横展開など「第2の販路」開拓に向けた伴走支援を強化し、企業の持続的な成長を後押しすることも重要。
・事業の成功は、公共調達や実証事業への依存から脱却し、支援終了後も継続・発展できる地域ビジネスとして自立することにある。そのため今後は、県の役割を実証支援から自立可能な事業モデルの育成へと発展させ、支援終了後の継続性や展開可能性を評価できる仕組みへ発展していくことを期待している。